ウィズバイク

RSGライディングスクールへようこそ！

ライディングコーチのミナキです(^^)/皆さんGWはしっかり楽しみましたか～！？
さぁ新緑を満喫する最高に気持ちのいい季節の到来です！！
今回は気持ちのいいライディングに不可欠なタイヤについてのお話です(^^)/

【今のタイヤは実はとても手の掛かるパーツ！？】

バランスを取りながら走行するオートバイで唯一接地しているのがタイヤ。この重要なパーツの性能がここ10年で劇的に進化しています。
実はこれ、レーシングライダーのフォームの変化にはっきりと表れているのです。1980年代にケニーロバーツが完成させたハンクオンスタイルは、
ずっとライダーの定番でしたが、数年前からバレンティーノロッシが始めた足だし走法やマルクマルケスのヒジ擦りフォームの出現がタイヤの
急激な進化を表しています。いつでも限界に挑戦するレーシングライダーは、タイヤやマシンの進化によってライディングも変化させていくのです。
そしてその流れは一般タイヤにもフィードバックされていきます。しかしここで問題なのが高性能パーツ(タイヤも)の性能を維持するには、
常にメンテナンス(状態維持)が必要だと言う事です。

手の掛かる理由

以前のタイヤは、溝の深さと数ヶ月に一回のエアチェックをしておけば性能維持には十分でした。
しかし現在のタイヤは圧倒的に潰れやすくなり（タイヤの厚みも薄い）、その潰れを利用してグリップや安定性、
旋回性を出しています。そしてその潰れ具合（潰れ量）に大きく影響するのがエア圧なのです。

ここで注目!!

タイヤのつぶれ率に大きく関わるエア圧のチェックが数ヶ月に1回では全く足りません！！(>_<)

因みに、スポーツタイヤと呼ばれるタイヤの場合、0.3kgf/cm²エア圧が低いと明らかにいつもと乗り味が
違うと感じ、0.5kgf/cm²低いとまともに走れません。これはインストラクターのコメントですが、
技術の高いインストラクターでさえちゃんと走れないタイヤで、一般ライダーが安全に気持ち良く
走れるわけはありませんよね。気温の違い(朝昼や夏冬)でも0.3kgf/cm²程度は簡単に上下する
エア圧ですから1週間に一回か、乗る前には必ずチェックをしましょう(^^)/。エアゲージと手動ポンプが
あればいつでも適正空気圧に出来ます。温度変化、自然漏れが少ない窒素ガスを入れるのも手ですが、
自身で常にエアメンテ出来ないのが難点です。

さらに注目!!

エア圧でもう一つのネックが車両に貼ってある基準空気圧(>_<)

まぁとんでもなく高い数値が表示されています。高すぎるエア圧のバイクで楽しいのは取り回しくらい・・笑。せっかくの潰れやすいタイヤが全く
機能しません。例えば体重120キロで200km/hも出しちゃうトンでもライダーと、体重50kg、最高速100km/hの女性ライダーが同じ空気圧？？
そんな訳はありませんよね。しかし最大公約数で安全に走れる空気圧をメーカーは指定するしかないのです。販売店もそれに追従するしかありません。
逆にエア圧が低過ぎるタイヤは、取り回しが重く、コーナーでは切れ込み、高速ではバーストの危険さえあるのでこれもバツ。結局高すぎても
低すぎてもよくないと言う事なのですね。潰れが性能に大きく影響する昨今のタイヤの基準空気圧は、ライダーと車両の総重量で考えたいです。
更にそのライダーの走行場所や技量(コーナーでのスピード)を加味してエア圧は最終決定するのが理想です。

★スポーツタイヤ　～　サーキットスポーツタイヤのエア圧の目安(一般道)・・・あくまで目安です！

車両重量＋ライダー体重	スポーツタイヤ	サーキット寄りのスポーツタイヤ ＊最近のこの種のタイヤはより低圧傾向にあります。必ずショップさんなどと要相談下さい。	レースタイヤ
２１０ｋｇ～２４０ｋｇ	2.0ｋｇｆ～2.2ｋｇｆ	1.7ｋｇｆ～1.9ｋｇｆ	更に低圧　要ウォーマー
２４０ｋｇ～２７０ｋｇ	2.1ｋｇｆ～2.3ｋｇｆ	1.9ｋｇｆ～2.2ｋｇｆ	更に低圧　要ウォーマー
２７０ｋｇ～３１０ｋｇ	2.4ｋｇｆ～2.7ｋｇｆ	2.2ｋｇｆ～2.4ｋｇｆ	更に低圧　要ウォーマー

★上記は指定空気圧との違いを示すための目安です。試す場合はショップや経験豊富な方とよく相談して行なって下さい★

結論

現代のタイヤの乗りやすさ維持するには、自分に合ったエア圧と、まめにエアチェックをする事が絶対必要条件なんです(^^)/
つぶれ過ぎず、張りすぎずというエア圧で走らないと気持ちよく走れないばかりでなく、危険ですらあります。
そしてエアは毎日抜け続けている事と、気温で大きく変化する事を忘れないでくださいね(^^)/

どんどん進化するオートバイ！！
正しく機能！　正しく維持！
そして楽しく安全なバイクライフを過ごしましょう(^^)/

【ライディングコーチ MINAKI】　RIDING SPORTS GARAGE 代表

profile

西日本チャンピオンを経て1990年レースブームの真っただ中、国際A級へ自動昇格し全日本選手権を転戦。
鈴鹿8耐に幾度も出場し完走。現役時代より教え出したら止まらない癖あり。
現在は、ショップと各サーキットでの一般ライダー向けスクールを年間25回以上開催。
コーチングノウハウを駆使してRSGレーシングを率い、同チームから多数の全日本ライダーを輩出。
「RSGレーシング&スクールファミリー」で2015年2017年 鈴鹿8耐を無事完走！

ライディング　スポーツ　ガレージ
〒811-1242 福岡県那珂川市西隈 4-9-5
TEL 092-951-2299　FAX 092-951-2288

『RSG で検索』
RSG HP http://rsg-sports.com